

中途退学者の原因分析に対するR6年度の学科の対応策（R6年7月教授会に報告）		学科のR6年度対応策に対する実施状況及びその結果	令和7年度の対応策(案) (前年度結果及びR6年度の退学者状況を踏まえて)
退学事由	R6年度の対応策等		
ア. 修学意欲の低下	【児教】	【児教】 1年生2名、2年生1名の退学者。3名とも早くから修学意欲の低下がみられ指導教員も学業継続へ向け努力したものの退学に至った。今後も指導教員、保健室との連携、キャリアガイダンス等を通じた職業理解や学習への明確な動機づけなど、丁寧に対応していく。	【児教】 今後もキャリアガイダンスや各教科・学科会議での情報共有等で、指導教員と科目担当者・学科の他教員が連携しながら学習意欲を維持できるよう取り組む。
	【福祉】	【福祉】 指導教員を中心に面談や電話にて学生の相談に応じ、後期休学をすることにした。休学期間終了にあたり、現在の様子や復学への意向など主に電話にて相談に応じていった結果退学に至った。	【福祉】 就学意欲が維持できるように、指導教員を中心に、学生に必要な相談、指導支援を継続して実施する。
	【食采】	【食采】 1、2年生の交流の時間や学外研修を設け、学習に対するモチベーションをあげるための取り組みを行ったり、卒業生の講話を聞く機会を入学後早期に実施するなど、栄養士としての職業観を育むための導入教育も実施した。指導教員を中心に学生の状況把握には常に努め、専攻全体で連携を図りながら学生の支援を行ったが、結果として3名の退学者があった。	【食采】 ・導入教育や1、2年生の交流の時間など、可能な限り早期に設け、入学時のモチベーションが維持および向上できるよう取り組む。 ・栄養士としての職業観を育むための場を設け、学習意欲向上に繋げる。 ・指導教員を中心に学生の状況把握に努め、専攻内で情報共有し連携して支援する。
	【教養】	【教養】 学生の就学意欲が維持されるよう教員間で情報共有しつつ、指導教員を中心に相談や指導など必要な対策を講じる。	【教養】 学生の就学意欲が維持されるよう教員間で情報共有しつつ、指導教員を中心に相談や指導など必要な対策を講じる。
イ. 進路変更 (進学・転学・編入)	【児教】	【児教】 1年後期開始時1名の他、2年前期終了時の退学者も1名みられる。キャリアガイダンス等を通じた学習への明確な動機づけや、魅力ある授業の展開さらには指導教員と科目担当者が連携することで学習意欲を維持できるよう取り組むことが必要であろう。	【児教】 今後もキャリアガイダンスや各教科内で、指導教員と科目担当者が連携しながら学習意欲を維持できるよう取り組む。必要時は本人にとって望ましい進路を決められるように支援する。
	【福祉】	【福祉】R6年度該当者なし。	【福祉】なし
	【食采】	【食采】 入学後のミスマッチを防ぐために、出張講義やオープンキャンパス等で、専攻の特色や教育内容、就職先について、詳しくわかりやすい情報提供に努めた。また、入学後は栄養士の職業観や入学時のモチベーションが維持できるよう、導入教育の実施や1、2年生の交流の場を設けるなどの取り組みをおこなった。指導教員を中心に学生の状況把握には常に努め、専攻全体で連携を図りながら学生の支援を行ったが、結果として1名の退学者があった。	【食采】 ・オープンキャンパスやガイダンス等で、専攻の教育内容や特色、就職についての具体的な情報提供や、将来プラン(キャリア・アップ)を提案し、ミスマッチ入学を防ぐ。 ・栄養士としてのやり甲斐や職業観を育むための場を設け、指導教員を中心に学生の進路希望などの状況把握に努め、専攻内で連携し、支援する。
	【教養】	【教養】 教養学科に所属しながら進路を模索するなかで卒業前に希望する進路を見つられた学生に対しては、指導教員を中心に適切な支援を行う。	【教養】 教養学科に所属しながら進路を模索するなかで卒業前に希望する進路を見つられた学生に対しては、指導教員を中心に適切な支援を行う。
ウ. 進路変更(就職)	【児教】	【児教】 1年次後期開始後の退学者(2名)。入学後半年の期間にあらためて自分のキャリアに対する不安を抱いての退学と思われる。入学時のミスマッチも考えられるが、キャリアガイダンス等を通じた学習への明確な動機づけや、魅力ある授業の展開さらには指導教員と科目担当者が連携することで学習意欲を維持できるよう取り組むことが必要であろう。	【児教】 今後もキャリアガイダンスや各教科内で、指導教員と科目担当者が連携しながら学習意欲を維持できるよう取り組む。必要時は本人にとって望ましい進路を決められるように支援する。
	【福祉】	【福祉】R6年度該当者なし。	【福祉】なし
	【食采】	【食采】R6年度該当者なし。	【食采】なし
	【教養】	【教養】 卒業前に希望する進路を見つられた学生に対しては、指導教員を中心に適切な支援を行った結果、3名の退学者が出た。	【教養】 教養学科に所属しながら進路を模索するなかで卒業前に希望する進路を見つられた学生に対しては、指導教員を中心に適切な支援を行う。

中途退学者の原因分析に対するR6年度の学科の対応策（R6年7月教授会に報告）			学科のR6年度対応策に対する 実施状況及びその結果	令和7年度の対応策（案） （前年度結果及びR6年度の退学者状況を踏まえて）
退学事由		R6年度の対応策等		
エ、 経済的困難	【児教】	・学生支援課と連携し各種経済的支援制度の利用等を勧め、修学継続に繋がるよう支援する。	【児教】 家庭的な事由や大学で勧められる経済的支援制度の利用だけでは解決できない経済的な問題などにより退学となった者が2名あった。 【福祉】 R6年度該当者なし。 【食栄】 学生支援課と連携し、奨学金制度等の利用を勧め、個々に応じた修学継続が可能な方策について紹介し、学業が継続できるよう支援に努めた。しかし、1名の退学者（除籍）があった。 【教養】 R6年度該当者なし。	【児教】 学生支援課と連携し各種経済的支援制度の利用等を勧め、修学継続に繋がるよう支援する。 【福祉】 なし 【食栄】 学生支援課の協力を得て奨学金制度等の利用を勧め、個々に応じた修学継続が可能な方策について紹介し、学業が継続できるよう支援する。 【教養】 なし
	【福祉】	・学生支援課と連携しながら、様々な経済的支援に関する情報提供・活用などを勧め、学習が継続できるように支援する。		
	【食栄】	・学生支援課の協力を得て奨学金制度等の利用を勧め、個々に応じた修学継続が可能な方策について紹介し、学業が継続できるよう支援する。		
	【教養】	・学生支援課と連携しながら経済的支援に関する情報提供や相談を行うことで修学が継続できる環境を整える。		
オ、 学力不足	【児教】	・科目担当者の支援に加えて、なんでも学生相談室の利用を勧めるなど、学修を支援するとともに、個人情報保護に配慮した上で教員間で配慮の必要な学生情報を共有して対応する。	【児教】 R6年度該当者なし。 【福祉】 R6年度該当者なし。 【食栄】 R6年度該当者なし。 【教養】 R6年度該当者なし。	【児教】 なし 【福祉】 なし 【食栄】 なし 【教養】 なし
	【福祉】	・学生の学習状況について専攻内で情報の共有を図り、適切な支援を継続して実施する。		
	【食栄】	・個々の学習状況について専攻内で情報を共有し、学習支援員の協力を得ながら、各科目で適切に支援する。 ・学習支援の時間を週1回程設け、教員に気軽に質問や相談できる環境を整える。		
	【教養】	・学生の学力および学習状況について教員間で情報共有をしつつ学習支援室と協力して適切な支援を行う。		
カ、 身体疾患	【児教】	・指導教員を中心に、保健室や保健管理委員会と連携して、修学を継続できる環境を整え支援する。	【児教】 R6年度該当者なし。 【福祉】 R6年度該当者なし。 【食栄】 R6年度該当者なし。 【教養】 R6年度該当者なし。	【児教】 なし 【福祉】 なし 【食栄】 なし 【教養】 なし
	【福祉】	・指導教員を中心に、保健室やなんでも相談室、保健管理委員会と連携しながら、学習が継続できるように支援する。		
	【食栄】	・指導教員を中心に、専攻内で情報共有し、保健室や保健管理委員会と連携し支援する。		
	【教養】	・指導教員を中心に保健室や相談室、保健管理委員会と連携しながら適切な支援を行う。		

中途退学者の原因分析に対するR6年度の学科の対応策（R6年7月教授会に報告）			学科のR6年度対応策に対する 実施状況及びその結果	令和7年度の対応策（案） （前年度結果及びR6年度の退学者状況を踏まえて）
退学事由	R6年度の対応策等			
キ、心身耗弱	【児教】	・入学前から健康上の問題を抱えている学生もいることから、引き続き保健室や保健管理委員会と連携しながら、適切な対応が図れるよう教員間で情報を共有し対応する。また、遠隔地から進学してきた学生には、特にきめ細かい支援や声掛けを行う。	【児教】 高校時代からの精神疾患に加えて一人暮らしに伴う不安感などから退学に至った。この間、保健室や保健管理委員会と連携し、改善を試みたものの改善には至らなかった。 【福祉】 指導教員を中心に適宜面談などを行ったり、専攻内でも学生の様子について情報共有を行ったりしながら支援に努めた。また、状況により本人と相談の下、保健室やなんでも相談室とも連携を図りながら健康管理について支援を行った。結果、両学生ともに健康上の理由で退学に至った。今回、本人が体調不良であることから、メールでの連絡が主となることもあり、教務課とも連携を図ることで本人の意向に添った対応が可能となった。 【食栄】 R6年度該当者なし。 【教養】 R6年度該当者なし。	【児教】 入学前から健康上の問題を抱えている学生もいることから、引き続き保健室や保健管理委員会と連携しながら、早期発見や適切な対応が図れるよう教員間で情報を共有し対応する。また、遠隔地から進学してきた学生には、特にきめ細かい支援や声掛けを行う。 【福祉】 指導教員を中心に、保健室やなんでも相談室、保健管理委員会と連携しながら、適切な支援を行う。 【食栄】 なし 【教養】 なし
	【福祉】	・指導教員を中心に、保健室やなんでも相談室、保健管理委員会と連携しながら、適切な支援を行う。		
	【食栄】	・指導教員を中心に、専攻内で情報共有し、保健室や保健管理委員会と連携し支援する。		
	【教養】	・指導教員を中心に保健室や相談室、保健管理委員会と連携しながら適切な支援を行う。		
ク、海外留学	【児教】	・該当者が出た場合は、学生の相談に応じながら適切に対応する。	【児教】 R6年度該当者なし。 【福祉】 R6年度該当者なし。 【食栄】 R6年度該当者なし。 【教養】 R6年度該当者なし。	【児教】 なし 【福祉】 なし 【食栄】 なし 【教養】 なし
	【教養】	・該当者が出た場合は、学生の相談に応じながら適切に対応する。		
ケ、その他	【児教】	・それぞれの退学事由に即して真摯に対応・支援し、退学者減へ向けて努力する。	【児教】 令和4年度入学生1名の退学。2年次に妊娠により休学し、出産、育児を経て復学を目指したが、環境の変化により退学を決意。本人及び保証人が出した結論であり、意思を尊重した。 【福祉】 R6年度該当者なし。 【食栄】 R6年度該当者なし。 【教養】 該当する事項について、指導教員を中心に学生や保証人の相談に応じながら適切に対応したが、1名の退学者が出た。	【児教】 それぞれの退学事由に即して真摯に対応・支援し、退学者減へ向けて努力する。 【福祉】 なし 【食栄】 なし 【教養】 該当する事項について、学生の相談に応じながら適切に対応する。
	【福祉】	・指導教員を中心に、学生に必要な相談、指導支援を継続して実施する。		
	【食栄】	・学生生活全般（レポート、課題、人間関係等）に関して相談できる環境を整え、学生支援の充実を図る。		
	【教養】	・該当する事項について、学生の相談に応じながら適切に対応する。		

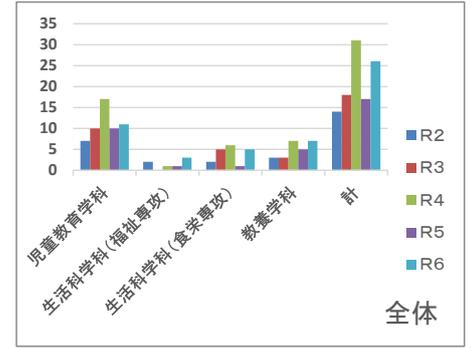
中途退学者数推移 (R2~R6)

全体

		R2	R3	R4	R5	R6
児童教育学科		7	10	17	10	11
生活科学科(福祉専攻)		2	0	1	1	3
生活科学科(食栄専攻)		2	5	6	1	5
教養学科		3	3	7	5	7
計		14	18	31	17	26
5 在籍者1者日数	J	390	387	405	375	323
	S(福祉)	18	19	18	17	17
	S(食栄)	83	105	105	90	85
	C	132	152	185	165	137
	計	623	663	713	647	562

全体

		R2	R3	R4	R5	R6
児教		1.8%	2.6%	4.2%	2.7%	3.4%
生活(福祉専攻)		11.1%	0.0%	5.6%	5.9%	17.6%
生活(食栄専攻)		2.4%	4.8%	5.7%	1.1%	5.9%
教養		2.3%	2.0%	3.8%	3.0%	5.1%
計		2.2%	2.7%	4.3%	2.6%	4.6%

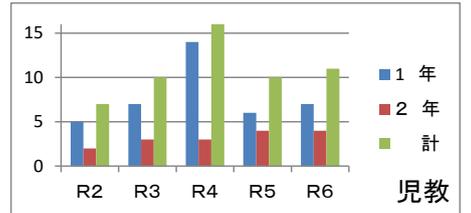


児童教育学科

		R2	R3	R4	R5	R6
1 年		5	7	14	6	7
2 年		2	3	3	4	4
計		7	10	17	10	11
在籍者数(5月1日)	1年	189	199	210	171	156
	2年	201	188	195	204	167
	計	390	387	405	375	323

児童教育学科

		R2	R3	R4	R5	R6
1 年		2.6%	3.5%	6.7%	3.5%	4.5%
2 年		1.0%	1.6%	1.5%	2.0%	2.4%
計		1.8%	2.6%	4.2%	2.7%	3.4%

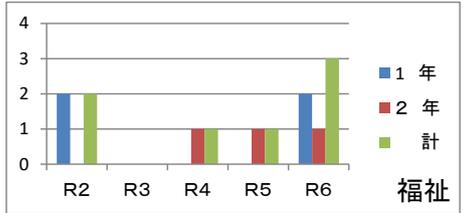


生活科学科[福祉]

		R2	R3	R4	R5	R6
1 年		2	0	0	0	2
2 年		0	0	1	1	1
計		2	0	1	1	3
在籍者数(5月1日)	1年	8	12	6	10	6
	2年	10	7	12	7	11
	計	18	19	18	17	17

生活科学科[福祉]

		R2	R3	R4	R5	R6
1 年		25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
2 年		0.0%	0.0%	8.3%	14.3%	9.1%
計		11.1%	0.0%	5.6%	5.9%	17.6%

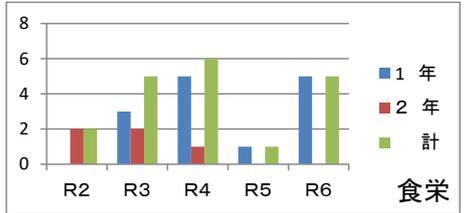


生活科学科[食栄]

		R2	R3	R4	R5	R6
1 年		0	3	5	1	5
2 年		2	2	1	0	0
計		2	5	6	1	5
在籍者数(5月1日)	1年	40	61	47	47	39
	2年	43	44	58	43	46
	計	83	105	105	90	85

生活科学科[食栄]

		R2	R3	R4	R5	R6
1 年		0.0%	4.9%	10.6%	2.1%	12.8%
2 年		4.6%	4.5%	1.7%	0.0%	0.0%
計		2.4%	4.8%	5.7%	1.1%	5.9%

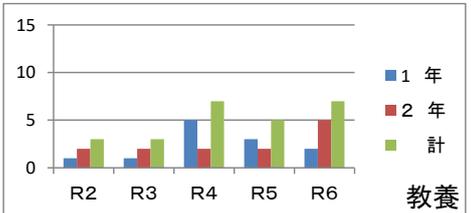


教養学科

		R2	R3	R4	R5	R6
1 年		1	1	5	3	2
2 年		2	2	2	2	5
計		3	3	7	5	7
在籍者数(5月1日)	1年	63	91	94	75	60
	2年	69	61	91	90	77
	計	132	152	185	165	137

教養学科

		R2	R3	R4	R5	R6
1 年		1.6%	1.1%	5.3%	4.0%	3.3%
2 年		2.9%	3.3%	2.2%	2.2%	6.5%
計		2.3%	2.0%	3.8%	3.0%	5.1%

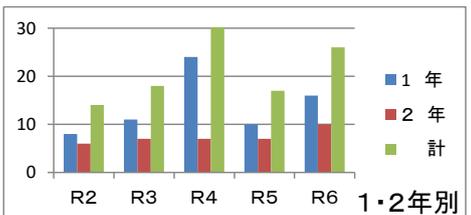


1年・2年別計

		R2	R3	R4	R5	R6
1 年		8	11	24	10	16
2 年		6	7	7	7	10
計		14	18	31	17	26
在籍者数(5月1日)	1年	300	363	357	303	261
	2年	323	300	356	344	301
	計	623	663	713	647	562

1年・2年別計

		R2	R3	R4	R5	R6
1 年		2.7%	3.0%	6.7%	3.3%	6.1%
2 年		1.9%	2.3%	2.0%	2.0%	3.3%
計		2.2%	2.7%	4.3%	2.6%	4.6%



中途退学事由

全体

退学事由		R2		R3		R4		R5		R6	
		1年生	2年生								
A	就学意欲の低下	1		6	2	10	1	3	2	7	2
B	進路変更(進学・転学・編入)			3	2	2		2		2	2
C	進路変更(就職)	2	2		2	8	2	1	1	3	2
D	経済的困窮	2	2		1	2	1	2	4	2	1
E	学力不足										
F	身体疾患						1	1			
G	心身耗弱	3	2	2		2	2			2	1
H	海外留学							1			
I	その他										2
計		8	6	11	7	24	7	10	7	16	10

児童教育学科

退学事由		R2		R3		R4		R5		R6	
		1年生	2年生								
A	就学意欲の低下	1		4		4	1	1		2	1
B	進路変更(進学・転学・編入)			1	2	1		2		1	1
C	進路変更(就職)	1			1	7	2	1	1	2	
D	経済的困窮	1	2			1		1	3	1	1
E	学力不足										
F	身体疾患										
G	心身耗弱	2		2		1				1	
H	海外留学							1			
I	その他										1
計		5	2	7	3	14	3	6	4	7	4

福祉専攻

退学事由		R2		R3		R4		R5		R6	
		1年生	2年生								
A	就学意欲の低下									1	
B	進路変更(進学・転学・編入)										
C	進路変更(就職)	1									
D	経済的困窮	1							1		
E	学力不足										
F	身体疾患										
G	心身耗弱					1				1	1
H	海外留学										
I	その他										
計		2	0	0	0	0	1	0	1	2	1

食栄専攻

退学事由		R2		R3		R4		R5		R6	
		1年生	2年生								
A	就学意欲の低下			2	1	4				3	
B	進路変更(進学・転学・編入)			1		1				1	
C	進路変更(就職)										
D	経済的困窮				1					1	
E	学力不足										
F	身体疾患						1	1			
G	心身耗弱		2								
H	海外留学										
I	その他										
計		0	2	3	2	5	1	1	0	5	0

教養学科

退学事由		R2		R3		R4		R5		R6	
		1年生	2年生								
A	就学意欲の低下				1	2		2	2	1	1
B	進路変更(進学・転学・編入)			1							1
C	進路変更(就職)		2		1	1				1	2
D	経済的困窮					1	1	1			
E	学力不足										
F	身体疾患										
G	心身耗弱	1				1	1				
H	海外留学										
I	その他										1
計		1	2	1	2	5	2	3	2	2	5